

別紙様式第1号

機械器具の概要を記載した書面

設 備 ・ 機 器 名 簿

〇〇 年 〇月 〇日

現在

名 称	型 式	数 量	購入年月
(以下は建築物飲料水貯水槽清掃業の例)			
高圧洗浄機	(株)▲▲ AAA-1010AB	2	令和〇年 〇月
揚水ポンプ	〇〇製 ABC-111	2	令和〇年 〇月
残水処理機	(株)●● BB-2	1	令和〇年 〇月
換気ファン	(株)△△ CC-3	1	令和〇年 〇月
残留塩素測定器	〇〇〇株式会社	1	令和〇年 〇月
色度計	△△△株式会社	1	令和〇年 〇月
濁度計	□□株式会社	1	令和〇年 〇月
掃除道具一式	ゴム手袋、バケツ、たわし等		

登録業の区分によって保有する義務のある機械器具が異なります。

記載例は建築物飲料水貯水槽清掃業での例になりますが、

各登録区分の基準は建築物衛生法第25条～30条をご確認ください。

別紙様式第2号

監督者等の氏名を記載した書面

監督者等名簿

年 月 日現在

監督者等の名称	氏 名	業 務 範 囲	経験年数	資格の種別	資格取得年月日
(注1) 貯水槽清掃作業監督者	宮城 七郎	(注2) 例:業務全般、貯水槽の清掃作業に関する一切の業務など	○年	(注3) 貯水槽清掃作業監督者講習会修了 (貯000A000号)	○年○月○日
	仙台 一郎	上記監督者不在時の場合代行	●年	貯水槽清掃作業監督者講習会修了 (貯111A000号)	●年●月●日

監督者が複数存在する時はそれぞれの業務分担を記入してください。

(備考) 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 清掃業の場合は清掃作業監督者、空気環境測定業の場合は空気環境測定実施者、空気調用ダクト清掃業の場合はダクト清掃作業監督者、飲料水水質検査業の場合は水質検査実施者、貯水槽清掃業の場合は飲料水貯水槽清掃作業監督者、排水管清掃業の場合は排水管清掃作業監督者、建築物ねずみ昆虫等防除業の場合は防除作業監督者、建築物環境衛生総合管理業の場合は総括管理者、清掃作業監督者、空調給排水管理監督者及び空気環境測定実施者について記入する。

(注2) 監督者等が複数いる場合は、それぞれの業務分担を記入する。

(注3) ○○講習会修了、建築物環境衛生管理技術者免状保有者等と記入する。

別紙様式第3号

従事者研修の実施状況を記載した書面

研修実施状況（計画）

（自 年 月 日 至 年 月 日）
年 月 日現在

研修の期日	研修の内容	指導員の氏名及び資格	対象従事者数	参加従事者数
△年□月○日	<p>（以下建築物飲料水貯水槽清掃業の例）</p> <p>1、建築物衛生法について（貯水槽に関わる法令等）</p> <p>2、水と健康（飲料水に関して）</p> <p>3、作業の安全と衛生</p> <p>4、給水設備機器について</p> <p>5、貯水槽の清掃方法</p> <p>6、貯水槽の消毒方法（消毒の意義）</p> <p>7、貯水槽の塗装方法</p>	宮城 七郎	●人	□人

（備考）用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

作 業 実 施 方 法 等

年 月 日現在

	作 業 班	監 督 者 等	使 用 す る 機 械 器 具
作 業 班 編 成	<p>1班 ○人体制 責任者 宮城 七郎 従事者数 ○人</p>	<p>貯水槽清掃作業監督者 宮城 七郎</p>	<p>高圧洗浄機、揚水ポンプ、残水処理機、換気ファン、残留塩素測定器、色度計、濁度計 …各1台 掃除道具一式</p>
作 業 手 順	<p>(1) 飲料水の貯水槽(貯湯槽を含む。以下同じ。)の点検及び周辺の清掃を行う。 (2) 貯水槽の清掃は、受水槽の清掃を行った後に高置水槽、圧力水槽等の清掃を行う。 (3) 貯水槽内の沈でん物質及び浮遊物質並びに壁面等に付着した物質を洗浄等により除去し、洗浄を行った場合は用いた水を完全に排除する。 (4) 貯水槽の清掃終了後、塩素剤を用いて2回以上貯水槽内の消毒を行う。 【使用する塩素剤の名称及び使用方法】例:有効残留塩素濃度50~100mg/Lの次亜塩素酸ナトリウム液を2回以上噴霧する。 消毒後の水洗い及び貯水槽内への上水の注入は、消毒終了後少なくとも30分以上経過してから行う。 (5) 消毒終了後は、消毒に用いた塩素剤を完全に排除するとともに、貯水槽内に絶対に立ち入らないようにする。 (6) 貯水槽の水張り終了後、給水栓及び貯水槽内における水について、水質検査を行う(平成14年3月26日厚生労働省告示第117号第5の4の規定による)。各基準に適合していることを確認する。 ※作業状況や設備等の状態、水質検査結果についての報告書を2部作成し、1部は建築物維持管理権原者へ提出し、1部は自社で5年間保存する。</p>		

班に名前がある場合、○○清掃班などの
具体的名称でも可です。

別紙様式第1号に記載した機器など
その作業を行う班で用いる機械器具や道具、
個数を記入してください。

(備考) 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

作業実施方法等

年 月 日現在

業務を委託する際の手順及び委託した業務の実施状況の把握方法

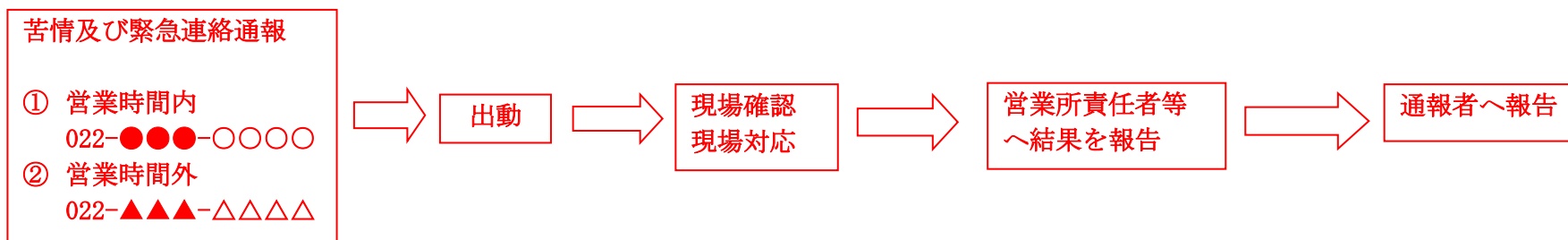
作業や使用する機械器具の維持管理は原則として自社で行うが、他の者に委託する場合は以下の通り。

- ① 業務委託をする者の氏名（法人の場合は社名）、委託する業務の内容・範囲や期間を建築物維持管理権原者に対してあらかじめ通知する。
- ② 業務委託した業者の業務方法が平成14年3月26日厚生労働省告示第117号に掲げる作業の基準を満たしていることを把握するため、業務の実施計画及び実施状況を報告すると共に現場確認を行う。
- ③ 委託先が決定している場合：委託する者の住所（法人の場合は主たる事務所の所在地）、氏名（法人の場合は名称並びに代表者名）

※委託しない場合は「委託無し」と記載すること。

苦情及び緊急の連絡に対する体制

(例示)



(備考) 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。